

第一章

神代 松尾山磐座と御祭神の伝承

15

松尾大社のはじまり 16

松尾山の古代祭祀、磐座と水源「水元さん」／創建の記録

松尾大社の御祭神 21

大山咋神と市杵島姫命／松尾と日枝に坐す「山の神」、大山咋神／素戔鳴命の御子、市杵島姫命
／大海原を護る宗像三女神／東アジアをつなぐ女神

松尾大神の伝承 27

開拓神としての伝承／松尾大神の神使、亀と鯉／日本第一酒造之神の伝承／松尾大社と亀信仰

第二章

古代 松尾大社の創建と秦氏

37

松尾大社を創建した秦忌寸都理 38

秦氏とは 42

古代の東アジア情勢と秦氏／秦氏はどこから来たのか？／秦氏はいつ頃来たのか？／秦氏はなぜ大集団になったのか？

山背国と秦氏 52

葛野秦氏と深草秦氏／葛野秦氏の母なる葛野川、葛野大堰と洛西用水／葛野川を守護する神、櫛谷宗像神社と大井神社／葛野川を守護する寺、法輪寺／深草秦氏と伏見稻荷大社／秦氏と太秦／秦河勝と広隆寺／秦氏の祖先を祀る大酒神社／日神と養蚕神を祀る木嶋坐天照御魂神社（木嶋社）／元糺の池と三柱鳥居

秦氏と桂川流域の古墳、遺跡 75

松尾の古墳群と遺跡／嵯峨野・太秦古墳群と遺跡

第三章

平安京 千年の都を護る松尾大社

81

山背国遷都と松尾社 82

山背国への遷都と神階／葛野秦氏と桓武天皇一族／葛野秦氏と藤原氏

平安時代の松尾社 94

皇城鎮護の社、松尾の猛霊／名神大社と二十二社／槻木事件／御笏落つ事／松尾社の祈禱と神階／松尾社への行幸／御社領と信仰の広がり

武家社会における松尾社 108
源頼朝と松尾社／室町幕府と松尾社／御社殿の焼失と再建／西岡被官衆と室町幕府／戦国から江戸時代の松尾社
江戸期の地誌に描かれた松尾社 121
明治時代以降の松尾社 123

第四章

まつり 松尾大社と山背国の信仰空間 127

現在の松尾大社の年中行事 128
『松尾社年中神事次第』から見る六百年前の年中行事 132
初夏を彩る洛西の大祭、松尾祭 143
「松尾の国祭」（神幸祭）と「松尾の葵祭」（還幸祭）／勇壮な桂川の船渡御、神幸祭（おいで）／葵と桂の祭典、還幸祭（おかえり）
京都における三つの「葵と桂の祭典」 153
秦氏とカモ氏をつなぐ「元糺」と「糺」 156
平安京の二大勢力、秦氏とカモ氏／古代祭祀場だった糺の森と池／糺、元糺を結ぶ、太陽と山と水を祭祀する遙拝線

第五章

能楽・文芸 描かれた松尾大社 161

清少納言と「松の尾」 162
能・狂言と松尾大明神 164
歌謡、和歌に詠まれた松尾社 166
西行と吉田兼好 170
井原西鶴と酒の神 173
本居宣長と大山咋神 174
上田秋成と延朗上人 176

第六章

建造物・文化財・庭園 松尾大社へのめぐりなご 179

古絵図の松尾社と修復の歴史 180
御社殿と文化財建造物 184
松尾大社の建造物の魅力／御本殿／中門（神門）・釣殿・廻廊・神庫・神饌所／楼門／拜殿／境内末社／赤鳥居の「脇勧請」／社務所・客殿・参集殿・授与所・葵殿／神像館（宝物館）／瑞翔殿・清明館「お酒の資料館」

第一章

神代 松尾山磐座と御祭神の伝承

松尾大社の御神像 200

神仏習合の時代を伝える三御神像／様々な御神像

庭園と境内名所 207

名庭「松風苑」／雲龍の滝と御手洗川、亀の井／一ノ井川と山吹／相生の松／幸運の撫で亀と双鯉

境外摂社 210

葛野坐月読神社／櫟谷宗像神社

境外末社 217

三宮神社／衣手神社／綱敷行衛天満宮

御旅所 222

西七条御旅所／朱雀御旅所（松尾總神社）／旭の杜（西寺跡）

神宮寺跡 225

松尾大社境内図 229

あとがき 230

参考文献 234